

令和7年4月13日執行

大山町選挙管理委員会

大山町長選挙選挙公報



ここに
小谷英介
えいすけ

町民が主役の大山町へ！
循環と自給のまちづくり

対話を大切にし、現場に足を運び、町民との対話を重ねながら、共に考え、共に進めるまちづくりを実践します。
町民一人ひとりの声や力が活きる町政をめざします。

安心 挑戦 学びのある町へ

暮らしに不安がないこと。
新しいことに挑戦できる環境があること。
学び続けられる場があること。
そうした「まちの基盤」を整えていきます。

これからの大山町は、「大山町らしさ」を大切にしながら、町の資源や人材を活かし、自分たちの手でまちをつくっていく。

そんな「循環と自給のまち」を実現したいと考えています。
目先の人口増加や企業誘致のみにとらわれるのではなく、地域に根ざした魅力あるまちの土壌を育てていくことに、全力で取り組みます。

大山町魅力向上の5本柱

① 経済と産業の発展 ② 保健医療福祉の充実 ③ 生涯学習と子育て支援の深化

- 一次産業の所得向上
- 起業支援と企業誘致
- 山と海で夏場の魅力向上
- 国立公園や文化財の活用
- 中小企業の生産性向上
- 高齢者の長寿支援
- 持続可能な地域医療体制
- 物価高対策の生活支援
- 健康づくりとフレイル予防
- 障害者雇用のさらなる創出
- 英語教育の深化
- 国際交流のさらなる発展
- 金融経済教育の推進
- スポーツ環境の充実
- 新たな公民館体制の構築

④ 安心して快適なまちづくり

- 宅地と賃貸住宅の整備促進
- 関係人口の拡大と未婚率の改善
- 女性や若者が暮らしやすい包摂性
- 集落、自治会、自主組織との連携
- 防災減災のまちづくり

さあ、
続けよう！
大山町

⑤ 行財政改革の継続

- 健全な財政の維持
- 財政調整基金10億円確保
- 情報発信の強化
- 政策立案能力と接遇の向上
- デジタル化、省力化、効率化

Q&A よくある質問にお答えします！

Q.なぜ大山町の人件費が4年間で4億円増えたの？

A.国の公務員制度の変更によるものです。
具体的には、人事院勧告による昇給分等が2億円、会計年度任用職員に勤勉手当の支給開始等で2億円となっています。

Q.大山町は赤字なの？

A.大山町で実質的な赤字は生じていません。
法律で定められた客観的な指標の「実質赤字比率」を見ても、この8年間で赤字になった年はありません。また、単純な毎年の収支に関しても、この8年間黒字です。

大山町の財政

就任から8年間で約34億円の財政健全化を達成！
基金(貯金)を4億円増やして、町債(借金)を30億円減らしました！



たけ
ぐち
ひろ
のり
竹口大紀



投票日は4月13日 (日)



(この選挙公報は、候補者から提出された原文を写真にとってそのまま掲載したものです。)